

発泡スチロール製恐竜骨格模型

「本物みたい 格好いい」

玉野高校の2年生が制作した発泡スチロール製の恐竜骨格模型が9月30日、築港小学校に贈られた。学校祭「玉高祭」（9月8、9日）で展示した9体で、実際の骨格をリアルに再現。小学校の校舎内に飾られ、児童の人気を集めている。

玉野高生 築港小にプレゼント

なトリケラトプス、翼竜のプテラノドンなど全長1・3〜2メートル。物は体高15センチとされる草食恐竜・ブラキオサウルスの模型は高さ2メートルもある。

理系進学コースを選択している2年生20人が約2週間かけて制作。プロジェクターを使い、市販されている骨格模型キットのパーツを拡大して発泡スチロール板に

転写し、線に沿って切り取った部品を組み立てて完成させた。「壊れやすい素材なので、割れないように扱うのに神経を使った」と鴨生大樹さん(17)。

1カ月ほど展示する予定で、模型を見た児童は迫力に興奮。児童会運営委員長の6年松岡廣燈君(11)は「本物の骨格みたいで格好いい。いつまでも大切にしたい」と話した。

(正本和臣)



築港小に展示された恐竜骨格模型を眺める児童と玉野高2年生

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。